

大泉

歩いて京都へ

石井友行

きっかけは小学生の時に読んだ「東海道中膝栗毛」(十返舎一九)でした。もう五十年近く前のことです。いつかこんな旅をしてみたい、東海道を歩いて京都まで行ってみたいと思いました。そして、大学生になった夏休み、お金はないけれど暇はある。やるなら「今だ!」と思いつき、実行に移しました。

アルバイトで貯めたお金をポケットに入れ、麦わら帽子をかぶり、大きなリュックに寝袋と着替えを少し入れて日本橋から歩き始めました。のんきな歩き旅のつもりでしたが、現実には厳しい。季節は夏。炎天下。お金がないので基本的には野宿です。舗装路の長時間歩行で膝を痛めてしまい、箱根峠越えは痛さをこらえ足を引きずりながらの旅になりました。つらいことは十分承知しながら始めた旅でしたが、「なんでこんな馬鹿なことをしてるのだろう。」「何かやめる理由はないかな。」などと常に考えながら歩き続けました。不審者と間違えられてお巡りさんに職務質問されるようなこともありましたが、静岡県三島を過ぎる頃から膝の痛みも和らぎ、少し旅を楽しむ余裕も出てきました。

<発行>
練馬区立大泉小学校<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092

そして、だんだんと不思議なことがおこり始めました。ある店の前で、菓子パンを買い、店の前にあったベンチでそれを食べていると、店の人が冷たい麦茶とスイカを持ってきて「食べなさい」と言ってくれました。別のところでは、昼食を食べるために食堂に入り、お金を払おうとしたら、「お金はいらないよ。がんばりな。」と言ってくれました。また別のところでは、夕方「今日はどこで野宿をしようか」と心細い気持ちで歩いていたところ、一台の車が止まって「今日、泊まっていきな。」と声をかけてくれたり・・・。普通の観光旅行では体験できないことが次から次へと起きたのです。京都の三条大橋にたどり着いたのは東京を出てから二十一日目のことでした。この旅をしてからもうずいぶん時間がたちますが今でもその時の様子をいろいろと思い出します。人の優しさを思い出します。

もしもお子さんが何かをやってみたい、チャレンジしてみたいと言いついたらぜひ応援してあげてください。何かをやり遂げたという体験は人生の宝物になります。他人からどう見えようとかまいません。本人が達成感をもってやり遂げたとしたらそれは素晴らしいことです。困難を乗り越えた数だけ、たくましくなれるし人には優しくなれます。

きっかけはいろいろなところにあります。豊かな体験を通して子供たちがたくましく育っていくことを願っています。

9月の行事予定

2日(月)	夏休み後朝会 身体測定(6)
3日(火)	4時間授業(特別時程) 身体測定(5)
4日(水)	給食始め 5時間授業 保護者会(34)
5日(木)	身体測定(4)
6日(金)	避難訓練 連合水泳記録会(6)
9日(月)	特別時程(3時間授業) 連合水泳記録会予備日 身体測定(3)
10日(火)	水泳指導終了 身体測定(25)
12日(木)	保護者会(125)
13日(金)	運動会時間割始 保護者会(56)
14日(土)	身体測定(1)
16日(月)	安全指導・安全点検 委員会活動 遠足(5)
17日(火)	走り方教室 道徳授業地区公開講座 4時間授業 敬老の日 運動会係打ち合わせ(56)
19日(木)	4年生以下5時間授業 教育実習生始 クラブ活動
20日(金)	運動会総合練習① 秋分の日
23日(火)	運動会総合練習②
24日(水)	運動会総合練習③
25日(木)	運動会総合練習予備日
26日(金)	運動会準備(6校時)
27日(土)	運動会
28日(日)	運動会予備日
29日(月)	振替休業日
30日(火)	

《9月の生活目標》

「登校時間を守りましょう」

長い夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。八月に入ってから暑い日が続いていましたが、暑さに負けずに過ごすことができました。

秋は運動会や学芸会と大きな行事が続きます。行事を通してたくさんのお友だちと力を高め、自分たちの貴重な機会になると思います。子供たちが様々な経験から学び、落ち着いた学校生活を送るためには、生活のリズムを整えることが大切です。本校の登校時刻は

○月・水 八時二十分

(朝会・集会のため)

○火・木・金 八時二十五分

となつています。学習の準備をしっかり行い、心に余裕をもって一日をスタートさせたいものです。

登校時刻を守ることは安全を守ることにもつながります。近隣の学校で心配な事件がありました。たくさんの方に見守られる中で、安心して学校に来ることができるよう、時間を意識して登校してください。

来週から運動会練習が始まります。たくさん体を動かして汗を流すことも多いですので、汗ふきタオルの準備も忘れずをお願いします。

(佐々木 淑恵)

《お知らせ》

五組担任の阿部由美教諭が八月八日に結婚をし、(嫁) 由美になりました。

今後共、よろしくお願いします。

道徳授業地区公開講座について

道徳の時間は、「ねらいに照らして、子供一人一人が自分の生き方の中の課題について深く感じたり、考えたりする時間」と言われています。道徳の時間は、学校教育における心の教育の要の時間となっています。その授業の質を高めることが、子供たちの心を育てるために大切だと考えられています。

そしてもう一つ、子供たちの心を育てるために大切なことがあります。それは、子供たちに豊かな体験を積ませることです。その体験は、人、自然、社会との豊かなかかわりの中にあります。そして、体験の場は、家庭、地域、学校です。

道徳の授業の中でその体験を振り返らせ、自分のよさや課題に気付かせることで、心を育てていきます。学校における道徳授業を公開し、家庭、地域、学校が共に子供たちの心の教育を考えていくことが大切なのは、そのためです。

九月十四日(土)の一、二校時に本校で道徳授業地区公開講座を開催します。一校時は、一年生から三年生が、二校時は、四年生から六年生と五組が一斉に「生命尊重」「思いやり・親切」「家庭愛」などをテーマにした道徳の授業の公開を行います。そして、四校時には体育館で「講演会」を行います。今回は、元フジテレビアナウンサーの小林大輔先生をお招きして「読み聞かせを通して豊かな心を育む」というテーマで講演をしていただきます。また、三校時には、体育館で小林大輔先生による読み聞かせの授業を行います。多数の保護者の方に参観していただきたいと思います。

(高澤 希予身)

運動会

今年の運動会は、二十八日(土)に行われます。運動会は、体育の学習の大きな発表の場となります。友達と力を合わせたり、全力で競技や演技に取り組んだりすることで、大きな達成感を味わうことができる行事です。

これから運動会の準備・練習が本格的に始まります。今年は、十三日(金)に、ミズノから専門の先生をお呼びして、走り方教室も行います。日頃から、ご協力いただいているベルマーク運動により実現したものです。速く走るコツや、走る姿勢など教えていただく予定です。運動会当日は、短距離走での走り方にも、ご注目ください。

団体競技や団体演技では、友達と力を合わせる大切になってきます。運動の得意な子・苦手な子、表現することが好きな子・恥ずかしい子、一人一人がそれぞれの気持ちで取り組むことでしょう。団体で行うよさは、学び合えることにあります。友達の動きを真似る・教える・励ます・共に失敗したり悩んだりする・できた喜びを共感する。どれも、大切な学びです。運動を通して、心も育っていきます。

運動会の係では、高学年の児童が、運動会を成功させるために自分の役割を果たそうと率先して仕事をしています。運動会は、どの場面をとっても子供たちの活躍の瞬間がたくさんあります。運動会という行事を機会に、子供たちが大きな成長をしてくれると願い、励ましていきたいと思っています。

(虻 由美)

特別支援教育について

本校には五組、いずみ学級、ことばの教室の3つの特別支援学級があります。それぞれの学級に通う子供たちの課題は様々ですが、どの学級でも一人一人の子供の状態や特性に応じた教育活動に取り組むことを大切に考えています。

五組は自立した生活が営めるようにするために、基本的な生活習慣の確立や健康な身体と強い心をもつ子供を育てること。いずみ学級は感情表現や意思の伝達、コミュニケーション能力の向上を図ること。ことばの教室はコミュニケーションに必要な正しい発音、リズム、話速、基本的な言語力を育てること、などを学級の目標としています。

校内に3つの特別支援学級があることの利点を活用して、教職員全体の研修にも取り組んでいます。

(田中 亨)

心のふれあい相談室から

「悩みは、言葉にした瞬間、小さくなる。」掲示板の「チャイルドライン」のポスターにある言葉で、私はいつも心ひかれていきます。「あのね」、「本当はね」と、考え考え発した一言一言をそのまま聴くことで、子供たちは、気持ちをほぐし、気持ちに向き合い、自分で方向を見つけて行きます。途中で「それはね」と言いたくなるのをちよつと横に置いて「それで?」と聴いて行く。うまく思いを言えない時でも、安心していられる雰囲気があることが、やがて「言葉」とな

って行くことを日々実感しています。子育ての忙しさの中にあっても、ちよつと意識して、子供たちの一言を聴いてみてはいかがでしょうか。

(浅沼 玲子)

事務室から

有名な割れ窓理論では「一枚の割れた窓ガラスを放置しておく、と、割られる窓ガラスがだんだん増え、やがて治安の悪化など街全体の荒廃につながる」と述べ、生活環境に目を配ることが、いかに住民のモラルを向上させ、よりよい地域づくり役に役立つかを実証しています。学校という場も例外ではありません。

本校ではこの夏季休業中に南校舎教室の壁面塗装工事を行いました。また全職員で各教科等の備品点検を実施し、不足している教材がないか、使いやすく整えられているかなどをチェックしました。

学校環境整備の努力が、児童の学習・生活面で一層の成果となって現れることを期待しています。

(安武 久実)

主事室から

私達の仕事は、子供たちが気持ちよく学校生活を過ごせるよう、学校の教育環境整備や校内美化が主になります。仕事は、廊下やトイレ、校庭など校舎内外の清掃、ゴミの分別処理、花壇の管理等多岐にわたります。

今年の夏休み期間は、廊下のワックス掛けをしました。暑い中三人のチームワークを生かして一生懸命行い、無事終わらせることができました。つらいことでもみんなで力を合わせれば楽しく効率よく仕事ができることを再確認できた仕事だったと思います。

これからも運動会や学芸会、毎日の学習に、子供たちが気持ちよく安全に取り組めるよう、主事室の三人で協力して頑張っていきます。

(主事室一同)